

### 3. フルタイム教員、パートタイム教員

中国で、フルタイムの大学教員を「専任教員」と呼んでいる。「教育部高等教育教学評価中心」が作成した大学評価指標によれば、専任教員とは、①大学教員資格を持ち、②大学の教育活動に従事する人員である。その概念を理解するため、以下の3点に注意すべきである。

- (1) 専任教員の定義は、上述の①、②の要件を同時に満たす。
- (2) 上述の教育活動は授業以外の実験、実習、卒業論文の指導も含む。
- (3) 党委書記、学部長、教務処処長などの行政職員の場合、もし上述の大学教員資格を持ち、行政以外の教育活動も従事している場合、「専任教員」として算定される。
- (4) 表3の職名の教員は上述の①、②を満たす場合、専任教員として認められる。

表3 国家各専攻別職名資格分類一覧（大学の場合）

	職 名			
	教授レベル	副教授レベル	講師レベル	助教レベル
大学教師（思想政治教育担当教員を含む）	教授	副教授	講師	助教
大学教育管理研究専攻	研究員	副研究員	助理研究員	研究実習員
大学実験専攻		高級実験師	実験師	助理実験師 実験員

<http://wenku.baidu.com/view/b44355235901020207409c84.html>

そして、パートタイムの教員を「校外教員」または「外聘教師」と呼んでいる。各大学は、必要に応じて、パートタイムの教員を採用しているが、その総数は、当該大学専任教員総数の25%を超えてはいけない<sup>5</sup>。パートタイム教員の人事関係は当該大学に属しない。他の大学の常勤教員は兼任の形でパートタイムを担当する例がほとんどである。

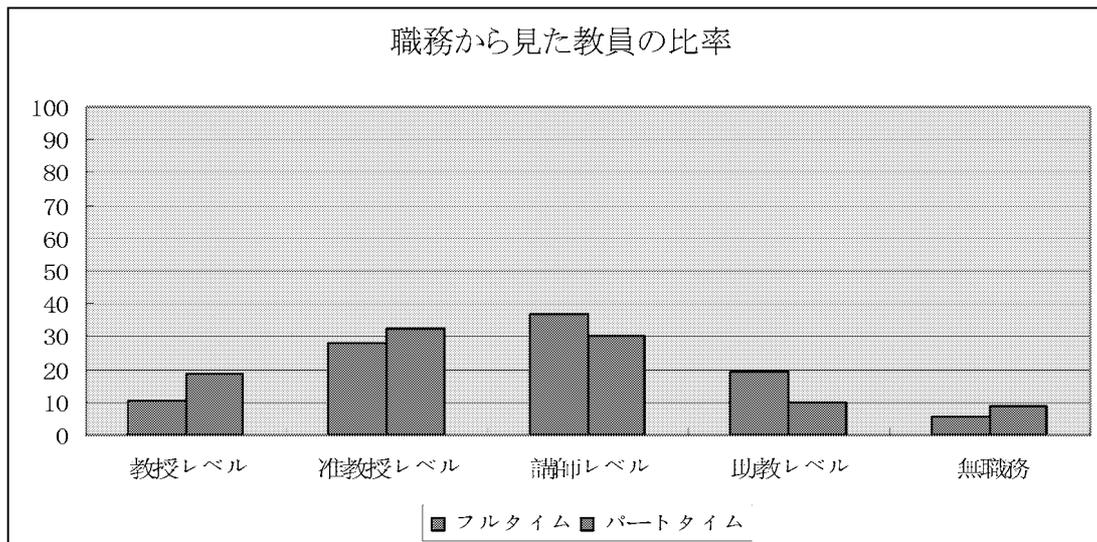
近年中国の高等教育の急速発展に伴い、大学教員の数も増加している。大学募集の拡大政策を出した1999年に、全国1071校の普通高等教育機関には、在学学生409万人があり、本務教員の数は約90万人であるが、2009年に2305校、2145万人の在学学生、約130万の教員にまで増えた。ちなみに、教員の46%は女性である。その他、「校外教員」と呼ばれるパートタイムの教員も存在する。2009年でその総数は約33万人である。

フルタイムの教員とパートタイムの教員の職務比例分布を見てみよう。フルタイム教員の場合、

<sup>5</sup>教育部、『普通高等教育機関本科教育水準評価方案（試行）』<http://www.edu.cn/20040920/3116210.shtml>

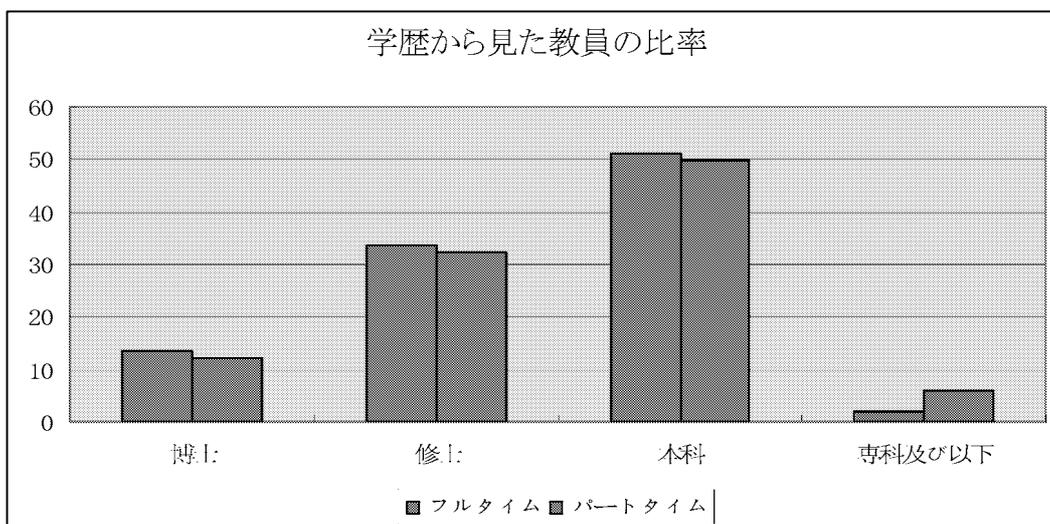
教授レベル 10.7%、助教授レベル 27.8%、講師レベル 36.9%、助手レベル 19.1%、無職務教員 5.5%である。パートタイム教員の場合、教授レベル 18.9%、助教授レベル 32.2%、講師レベル 30.4%、助手レベル 9.8%、無職務教員 8.7%である（図 1）。半数以上のパートタイム教員は助教授以上職名を持つ。

図 1



次に、教員学歴の比例分布を見てみよう。フルタイム教員の場合、博士 13.6%、修士 33.5%、学士 51%、専科及び以下 1.9%である。大学卒の専任教員は半数以上である。パートタイム教員の場合、博士 12.1%、修士 32.2%、学士 49.9%、専科及び以下 5.8%である。両者ほとんど区別がない。

図 2



#### 4. 大学教員の資格

90年代のはじめに、中国は教員資格制度を導入した。1993年制定した「中外人民共和国教師法」は、「国家は、教員資格制度を施行する」と明言した。その後公布した「教師資格条例」（教育部、1995）の第4条は、教員資格を7種類に分類し、「高等教育機関教員資格」もそのうちの一つである。2000年に更に「教師資格条例実施方法」（教育部）を公布し、教員資格認定が制度化された。2001年、教育部は「初回の教員資格認定若干問題に関する意見」（原語：「関与首次認定教師資格工作若干問題的意見」）を發表し、2002年まで全国の現職教員の教員資格認定作業を行った。また、2003年から、社会人に対する教員資格申請の受理も始まった。

『高等教育法』（1998）は、高等教育機関の教員資格について、以下のように述べた。「高等教育機関は、教員資格制度を施行する。憲法と法律を遵守し、教育事業を愛し、良好な思想、品德を備え、大学院卒または学士卒の学歴を持つ、教育教授の能力を有すると認定された中国公民は高等教育機関の教員資格を取得することができる。上述の学歴を持たない公民は、国家教員資格試験に合格し、認定合格された場合、高等教育機関の教員資格を取得することができる」（第46条）。

つまり、大学教員の資格を取得するには、認定を受ける必要がある。以下、上述の法令、各省の省令に基づき、大学教員資格認定制度の概要を整理する。

大学教員の資格申請の審査機関は、各省、自治区、直轄市の教育行政部門、または、その委託を受けた学校である。認定の基本条件としては、以下の通りである。

##### 基本条件1 国籍

大学教員資格の申請ができるのは中国公民に限られる。

##### 基本条件2 思想道徳

憲法と法律を遵守し、教育事業を愛し、「教師法」に規定された義務を履行し、教員の職業道徳を遵守する。

##### 基本条件3 学歴

教員資格の取得は基本的に学歴と結びついている。大学教員になるため、大卒または修士以上の学歴を有することが前提である。しかし、教員養成大学以外の卒業生は、教員資格を申請する前に、教育学、心理学を履修し、合格しなければならない。通常、各省の教師資格認定指導センターは、毎年教育学、心理学の研修会が主催している。研修コースを受けて、ほとんどの研修者が合格している。

#### 基本条件 4 教育教学基本素質及び能力試験合格

教員養成大学以外を卒業した申請者は、教育教学基本素質及び能力を測定する試験を受ける必要がある。教育教学基本素質及び能力には、教育学、心理学の基本知識と応用、授業内容と方法の選択能力、指導案作成能力、情報技術能力、研究能力、学生指導能力などが含まれる。その試験は、面接などの形式で、教育基礎知識、指導案づくり、板書、授業中のジェスチャーなどを評価する。

#### 基本条件 5 中国標準語の普通語水準試験 2 級乙等レベル到達

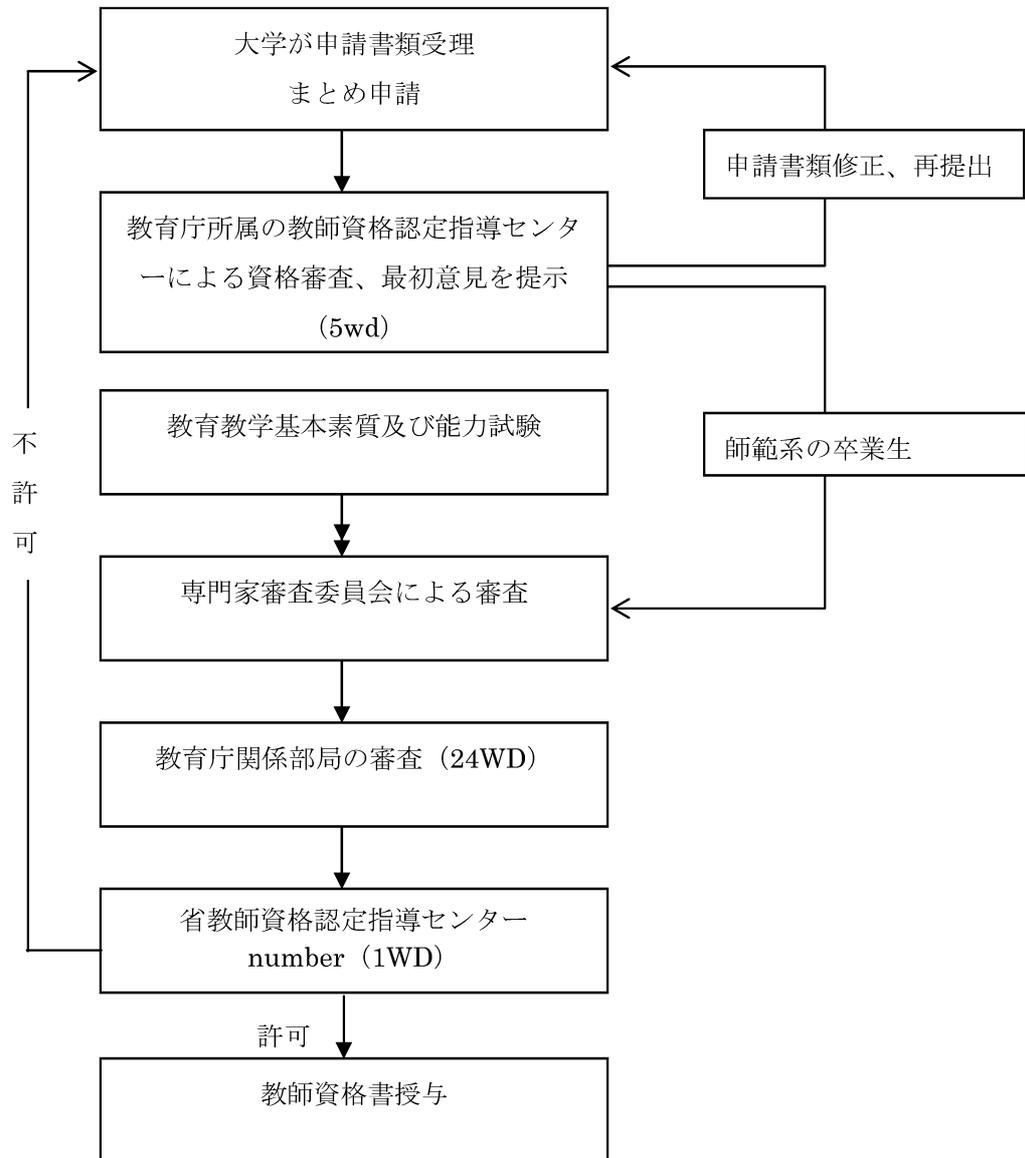
基本的に、上述の普通語水準試験 2 級乙等レベルに到達しなけれなければならないが、地方言語が複雑な地域では、3 級甲等レベルも認められる。また、少数民族自治区の場合、当該地方政府が作成した基準に従う<sup>6</sup>。通常、教員を目指す学生のほとんどが卒業する前に既にこの試験に合格する。ただし、公募で採用した社会人教員が、普通語水準試験 2 級乙等を取得するのは容易なことではない。

浙江省教育厅を例にして（図 3）、大学教員資格認定の流れを見てみたい。ただし、教授、准教授、または博士学位を持つ申請者は、以上の基本条件 3、4、5 が免除される。

---

<sup>6</sup>教育部（2009）、教員資格条例実施方法。

図3 浙江省大学教員資格認定の流れ



\* <http://www.zjedu.gov.cn/gb/onlinework/sp4.html> より作成 (注：WD=Work Day)

調べによると、大学教員の資格認定制度に関する先行研究は多くない。限られた文献によれば、現在の大学教員資格制度には、主に2点の問題が存在している。第1は、認定の基準である。上述のように、博士学位を取得すると、教育教学基本素質及び能力試験、中国標準語の普通語水準試験などが全て免除でき、一部の学者は、医師、弁護士などの専門職と比べると、大学教員の資格認定基準は厳しくない指摘している<sup>7</sup>。しかし、博士学位保有者が、必ず教学能力、言語表現能力などが高いとはいえない。第2は、大学教員資格の有効期間である。現在の制度は、一旦資

<sup>7</sup>陳蕃、大学教員資格認定中の問題と対策に関する思考、『黒龍江教育』、2006年第6号、14-16

格を取得したら、基本的には終身有効となっている。一定期間ごとに教員が技術や知識を獲得する機会を提供し、大学教員の資質を維持するため、今後、大学教員資格の定期認定制度を導入する可能性がある。2005年北京で開かれた第1回教員資格制度国際会議で、教育部は今後3年又は5年ごとの教員資格更新制度を導入することに言及した<sup>8</sup>。

## 5. 大学教員の養成

中国の大学は、1980年代に<sup>9</sup>、大学院生を対象とするTA（教育助手）、RA（研究助手）、MA（管理助手）制度を導入した。なかでもTA制度は、今後大学教員としての教育能力を養成する機能を有する。このTA制度の運用実態について概説する。

通常、各学院が必要に応じて、TAのポストを設定する。そして、公募の形式で、全学の大学院生から選抜する。選考の基準に関しては、政治、成績、責任感、健康状況に加え、教育の時必要な言語表現能力が強調される。そして、多くの大学は、同様の条件の申請者なら、仕事経験がある応募者、家庭経済困難の応募者を優先的に選抜する。TAの選考に関しては各学院の裁量に任されている場合が多い。

TAの主な業務内容は、大学や学問分野により異なるが、実験指導、成績評価の手伝い、試験問題の作成、学生からの質疑応答等であり、さらに授業の企画・指導を単独で担当する場合もある（学部生の全学科目が多い）。通常、1科目は最大2名のTAを採用する。授業準備時間以外、TAの勤務時間は週3時間から12時間まで、大学によって異なる（表4を参照）。多くの大学は、TAに対する評価を行う。教員による評価が中心となるが、自己評価、学生評価も含めて、総合的に評価する。評価の結果は、優秀学生の選抜、奨学金の申請につながっている。TAの報酬は、大学の人事費から出すこととなっているが、大学間や分野間で差がある。

筆者が調べた限りでは、TAに対して組織的に研修する例はあまり見られない。基本的には、担当課程の主幹教員の指導で授業を担当している。

---

<sup>8</sup>楼世州、徐莉亜、改善中の中国教員資格制度、「中国教師」、2005年12号、62-63

<sup>9</sup>1986年元国家教委は『関与改進和加強研究生工作的通知』を公布し、「積極的に大学院生のTA制度を導入する」と言及した。

また、1988年、元国家教委は、『《高等学校聘用研究生担任助教工作试行办法》』を公布した。1989年、元国家教委は『関与進一步做好研究生兼任教学、科研、行政管理工作的通知』を公布し、「大学院生が担当できる仕事は、原則としては、すべて大学院生が担当する」と明言し、全面的にこの制度を普及させると指令した。

表 4 TA の実施概要 (3 つの大学の事例)

	東華理工大学 <sup>10</sup>	清華大学 <sup>11</sup>	北京大学 <sup>12</sup>
業務内容	<p>本科、専科学生向きの一部の教養課程、専門基礎課程の質疑応答、宿題評価の補助、実験、実習、卒業論文の指導、成績評価の補助等。</p>	<p>①授業参観、授業の進展、学生の学習を把握する。②宿題、成績評価の補助、学生からの質疑応答、tutor、授業前の準備、実験の指導、授業用資料の収集等。③TA 経験者又は評価で優良を得た大学院生、または教育経歴があり、学内の「教育研究及び研修センター」から教員資格を得た大学院生、単独で基礎科目の指導授業、セミナー等を担当することができる。</p>	<p>学部生を対象とする科目(主幹基礎科目、全学科目)の宿題解説の作業の担当、質疑応答、宿題評価のお手伝い、ディスカッションのお手伝い、社会調査、実習、実験科目の指導。</p>
主な申請条件	<p>フルタイムの大学院生(現職院生を除く)成績合格</p>	<p>①フルタイムの大学院在学学生、主に博士学生を対象とするが、「教育研究及び研修センター」の許可を受け、数学系、物理系、人文学院の場合、少数の修士学生が TA を担当することができる。②成績優秀、学位論文の進展が順調なこと。③規定の修業年限を超えないこと。④課程の平均成績は 75 点以上、単科成績は 70 点以上(新入生を除く)。⑤学位論文の進展が指導教員または指導グループを満足させるものであること。⑥TA は担当する課程または関連課程を履修したことがある、または成績が良いこと。⑦自分が履修する科目の TA を担当することは認められない。</p>	<p>特になし</p>

<sup>10</sup>東華理工大学実施細則(2004)。

<sup>11</sup>清華大学管理細則(2007)。

<sup>12</sup>北京大学 TA、RA、MA 及びその手当制度の実施方法(2002)。

通 勤 時 間	週約 3～6 時間	週 12～15 時間。博士学生の場合、最大 3 学期、修士学生の場合、最大 2 学期。	週 12 時間以上
待 遇	1ヶ月ごと 300 元(修士 1 年生)、400 元(修士 2 年生)、500 元(修士 3 年生)	修士、博士の身分、仕事の重要性によって、1ヶ月ごと 450 元～750 元。	1ヶ月ごと標準給与 800 元、評価で合格した場合最大 2 単位が認められる。
研 修	ない	TA をする前に、学内の「教育研究及び研修センター」、各学部、授業を担当する講師による研修を受ける必要がある。研修形式は、集中講義、自習資料の提供、グループ討論会、専門家による講座、アンケート調査等である。	不明
評 価	不明	授業を担当する講師による評価、自己評価、学生評価。	指導教員、科目担当教員によって評価する。

TA 制度の導入は、大学院生の教育力向上のための教育重視政策により発展したのではなく、社会主義市場体制の人事制度改革、大学教員陣の構成改善、大学運営効率の向上、大学院生養成モデルの改革、博士学生の資質の向上など多様な背景の中で、発展した制度だと思われる。大学教員の養成に役に立つと思うが、十分に訓練されていない大学院生が TA として学部の授業に多用されたことで、学士課程教育の質的低下を招いたという指摘もある。

また、現在、各大学では、若手教授陣に対するファカルティ・ディベロップメント活動は少しずつ普及しているが、TA に対する訓練プログラムは非常に少ない。清華大学の事例のように、研修プログラムがあっても、TA のためのプログラムであり、TA を通じて、将来の大学教員と見なして支援する大学教員準備プログラムのような先駆的な動きではないと思われる。

## 6. 大学教員の任用

1993 年の「教師法」第 17 条によれば、学校と他の教育機関は、漸次に契約任用制を実行する。教師の任用は、双方の地位の平等原則を尊び、学校は教師と任用契約をし、双方の権利、義務と責任を明確にする。

大学内部の組織機構と人員配置は、各大学が自主的に行うこととなっている。「高等教育法」(1988年)第43条によれば、高等教育機関は教員契約任用制を実施する。双方の地位は平等原則を尊び、高等教育機関の学長は教員と契約を締結する。その後、2000年に、中国共産党組織部、教育部、人事部が「高等教育機関の人事制度改革に関する実施意見」を公布し、教職員の採用に終身制度の代わりに、競争メカニズムを取り入れ、2000年以降、新任教員の採用に公募・任期制を導入した。ただし、公立大学の教員の採用規模は、政府部門の人事定員(原語:人事編制)に従う必要がある。政府財政による人員給与の配分は、その定員数によって各機関に配分されているため、定員外の人員採用の給与は大学が自ら調達した資金で負担することになっている。

以下、浙江工業大学の公募通知を例として、現在大学教員任用の流れを見てみたい。

表5 2011年度浙江工業大学専任教員公募通知(要項)

<p>1. 大学概要</p> <p>浙江工業大学は浙江省にある総合的な重点大学である。3つのキャンパスを持つ。22の学部、63の本科専攻を有する。</p> <p>2. 公募計画</p> <p>今年度わが大学18学院は280名の専任教員を採用する予定である。</p> <p>「浙江省事業単位公開人員招聘暫定方法」が規定した基本条件<sup>13</sup>に加え、以下の年齢制限を要求する。教授応募者は45歳以下、准教授応募者は40歳以下、博士応募者は35歳以下、修士応募者は30歳以下、非常に優れた人材、人材不足のポストの場合、上述の年限制限は緩和できる。</p> <p>各学院の公募人数、条件は別表を参考する。</p> <p>3. 選考方法</p> <p>(1) ネット公表</p> <p>①浙江省人的資源及び社会保障ネット (<a href="http://www.zjhrss.gov.cn">www.zjhrss.gov.cn</a>) の「事業単位公募コラム」</p> <p>②浙江工業大学のネット (<a href="http://www.zjut.edu.cn">http://www.zjut.edu.cn</a>) の「人材採用コラム」</p> <p>(2) 申し込み、資格審査</p> <p>本公募は、採用人数が達成するまで、1年間で実施する。各学院は不定期的テスト(面接)を実施する。</p>
---

<sup>13</sup>①法律を守り、品行方正、事業単位の義務を履行できる；②採用ポストに相応しい学歴、専門知識と技能；③採用ポストに相応しい健康状態；④採用ポストに必要な他の条件

①申し込み。担当機関は大学の人事部と各学院の人事担当である。メール、郵送で応募資料を提出する。

②提出資料

履歴書、当年度卒業した学生は卒業大学が作成した「卒業生就職推薦書」を提出、その他の応募者は、最終学歴、学位、職名等の書類を提出、外国から帰国した留学生は、教育部留学サービスセンターによる「外国学歴学位認証書」、または、中国大使館による「留学生証明書」等の資料を提出する。

③過去三年間の代表的研究成果（論文、著作、研究経歴、受賞経歴、SCI、EI、SSCIに収録、引用した証明書）

④身分証明書、戸籍証明書。

(3) 資格審査

各学部が資格審査を実行し、選考人員を確定する。

(4) 面接

模擬授業を実施する。最終人員を決定する。

(5) 健康診断、審査

「浙江省教員資格認定健康診断標準及び実施規定」に基づき健康診断を行う。審査の内容は、主に選考対象の思想政治素質、能力素質、違法状況、道徳品質及び就職経験である。

(6) 公示

採用した人員は、審査が終了した1週間以内、指定のネットで公示する。公示時間は7日以上とする。公示期間以内、特に問題がない場合、正式の採用手続きを実行する。

4. 待遇

採用した人員の中に、我が大学が認定した「高級人材」の場合、国家が提供する給与、保険とその他の待遇以外、赴任手当、科研起動費、住まい援助金などを提供する。具体的には、「浙江大学高級人材採用科研起動基金援助方法」、「浙江工業大学高級人材住まい援助方法」を参照。

ちなみに、近年、各大学は教員を任用する際、職種重視、研究成果重視、海外人材重視という傾向がある。優れた人材の誘致によって、短期的に大学また当該研究分野の水準を向上させることが目的である。また、事実上、博士学位は、すでに大学教員になるための最低基準となっている（表6）。

表 6 2011 年度杭州師範大学各学院人材招聘計画

公募学院	公募の専攻	学歴要求	その他
人文学院	応用言語学	博士	英語本科卒、当年度の卒業生、海外留学経験がある者優先
	世界史	博士	1965 年出身、教授の職務
政治経済学	経済学	博士	当年度の卒業生
教育科学学院	教育史、教育学原理、応用心理学等	博士	当年度の卒業生、SCI、SSCI 収録の論文 1 通以上、又は国内の 1 級雑誌で論文数通、35 歳の海外留学生が優先
外国語学院	日本語学	博士	教授の職務
材料、化学、化学工業学院	材料化学	博士	当年度卒業生、最低 1 年間の留学経験
基礎医学部	心臓血管生理学	博士	准教授以上の職務、海外で留学、仕事経験がある者
ビジネス学院	管理学	修士以上	教授の職務

## 7. 大学教員の昇進

大学教員になってから、助教から教授まで昇進していくが、昇進決定の手続は機関によってそれぞれである。以下、杭州師範大学を例にして、大学教員の昇進の流れを説明する。

### (1) 学内資格審査、公示 (5 月)

関係規定に基づき、昇進申請者の資格を審査する。審査内容は、大学教員資格証の有無、現在職名の年数<sup>14</sup>、昇進用外国語成績合格書 (博士、50 歳以上、当該専攻の卒業生、留学生、英語資格試験を取った者の場合不要)、全国コンピュータ能力テスト合格書 (博士、45 歳以上、留学生、当該専攻の卒業生はこの成績不要)、ポスト研修合格証明書<sup>15</sup>

### (2) 論文審査 (6 月)

現在の職名に昇進したあと発表した論文、著作を提出し、学外の現職の専門家の審査を受け

<sup>14</sup>基本的には、昇進の場合、現在の職名で 5 年間働く必要がある。なお、修士卒業した 2 年後、講師への昇進申請ができる。

博士卒業した 2 年後、副教授への昇進申請ができる。

<sup>15</sup>浙江省教育庁の規定によると、1998 年以降採用した教員、行政職員は、「大学心理学」、「高等教育学」、「倫理学と法規」という 3 つの科目の短期研修を受け、合格する必要がある。